

## 株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日 そのほか臨時に必要な場合には、あらかじめ公告いたします。
配当金受領 株主確定日	3月31日 中間配当を実施するときは9月30日
名義書換代理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
同 取 次 所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
郵便物送付先	(〒135 - 8722) 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話(03)5213 - 5213(代表)
公告掲載新聞	日本経済新聞
貸借対照表および損益計算書掲載のホームページアドレス	<a href="http://www.enshu-truck.co.jp/koukoku/index.html">http://www.enshu-truck.co.jp/koukoku/index.html</a>

# 第39期 事業報告書

(平成15年4月1日から  
平成16年3月31日まで)

 遠州トラック株式会社

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第39期（平成15年4月1日から平成16年3月31日まで）の事業の概要と決算についてご報告申し上げます。

平成16年6月



代表取締役社長  
澤田 邦彦

## 営業の概況

### （1）営業の経過および成果

当期における我が国経済は、一部企業の収益改善で景気回復の兆しが見えるものの、引き続きデフレ傾向にあり、個人消費は依然として低迷している状況で推移いたしました。

当物流業界においても年末・期末の一過性の繁忙時期はあるものの、総じて荷動きは低水準でありました。またNOx・PM法による環境規制、安全等の規制により、原価が引き上げられ収益を圧迫しております。

こうした中で、当社では3PL（サードパーティーロジスティクス）を一層推進し、収益の増加に努めてまいりました。3PLを請け負うことにより、運送・倉庫を併営している強みを最大限に有効利用し、運用の工夫と効率の追求により運送単価の下落分を吸収した結果、営業収益は133億54百万円（前期比8.9%増）となりました。

利益面においては、一部新規取引を開始した荷主へのサービスで、立ち上がりの適切な運用と円滑さに改善の余地があったものの、営業利益は9億73百万円（前期比3.7%増）、経常利益は9億55百万円（前期比2.2%増）の微増益となりました。

当期純利益は投資有価証券の売却益が寄与し5億44百万円（前期比12.8%増）と

なり、増収増益となりました。

営業部門別の状況は次のとおりであります。

輸送部門の営業収益は88億26百万円（前期比5.9%増）となりましたが、不採算遠距離輸送の外注化、および社会的規制に伴う見直しにより、自社輸送が34億97百万円（前期比0.8%減）の微減、取扱輸送が53億29百万円（前期比10.9%増）となりました。

倉庫部門においては、在庫の増加に伴う充填率の向上と富士営業所の開設により営業収益40億92百万円（前期比12.0%増）となりました。

不動産部門の営業収益は、分譲地の販売が堅調に推移し4億36百万円（前期比54.4%増）となりました。

### （2）対処すべき課題

当社は、引き続き厳しい環境が予想される中、充分耐えうる体質の強化を図り、物流戦略商品の開発に心がけ収益向上に努めてまいります。また、顧客のニーズに応える提案営業のできる人材の育成および財務体質の強化を図ってまいります。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

### （3）資金調達の状況

当期は、設備投資等の借入を行い、その結果、借入金は長短合わせて前期より3億88百万円の増加となりました。

### （4）設備投資の状況

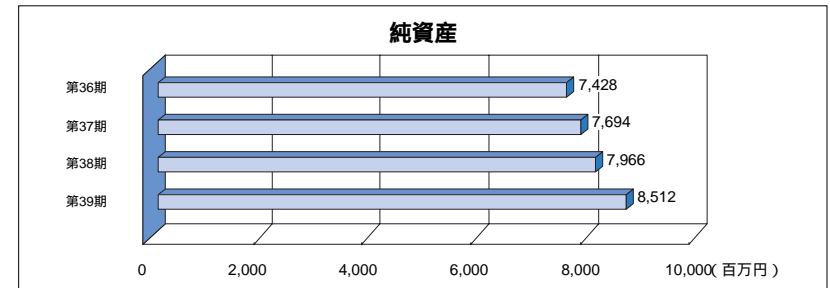
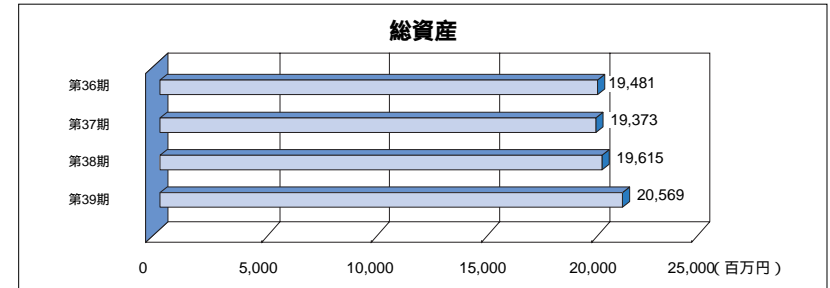
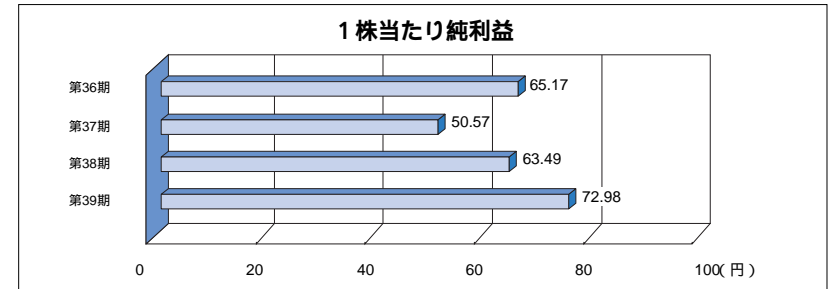
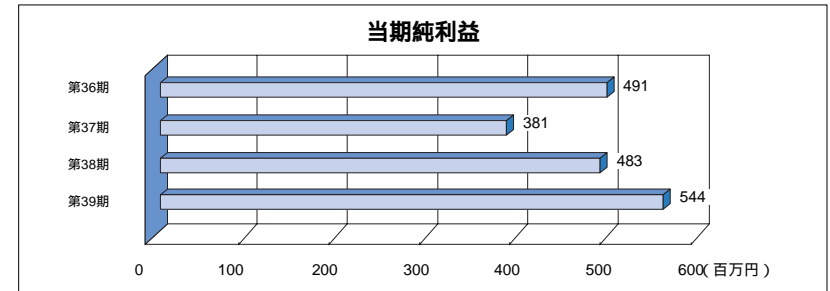
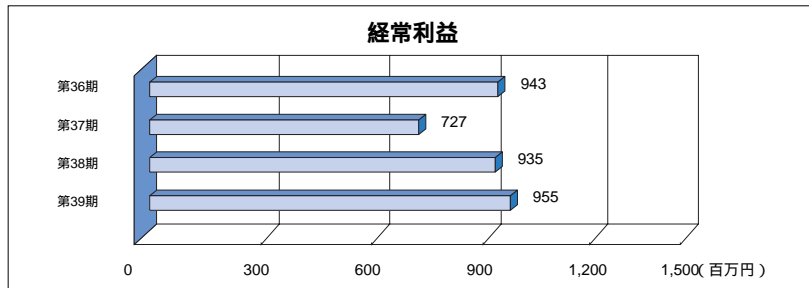
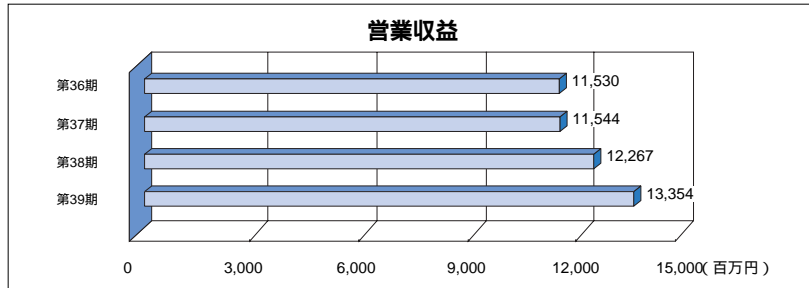
当期において実施した設備投資の総額は、11億16百万円で、その主なものは静岡県富士市の富士倉庫の土地、建物の取得および富山県福岡町の富士倉庫の土地、建物の取得であり、また社会的規制に伴う車輛運搬具の更新取得であります。

## 業績および財産の状況の推移

項目	期別	第36期	第37期	第38期	第39期
		平成12年4月～ 平成13年3月	平成13年4月～ 平成14年3月	平成14年4月～ 平成15年3月	平成15年4月～ 平成16年3月
営業収益(千円)		11,530,258	11,544,854	12,267,347	13,354,591
経常利益(千円)		943,995	727,594	935,238	955,494
当期純利益(千円)		491,776	381,611	483,094	544,933
1株当たり当期純利益(円)		65.17	50.57	63.49	72.98
総資産(千円)		19,481,482	19,373,679	19,615,306	20,569,309
純資産(千円)		7,428,183	7,694,052	7,966,647	8,512,882

(注) 1. 第39期から「商法施行規則の一部を改正する省令(平成15年2月28日法務省令第7号)」による改正後の商法施行規則の規定に基づいて計算書類を作成しております。このため、従来の「当期利益」、「1株当たり当期純利益」は、それぞれ、「当期純利益」、「1株当たり当期純利益」として表示しております。

2. 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式数に基づいて算出しております。  
なお、会計基準の変更により、第38期より期中平均発行済株式数から期中平均自己株式数を控除した株式数を用いて算定し、利益処分による役員賞与金等を控除して算出しております。



## 貸借対照表

(平成16年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>流動資産</b>	3,514,526	<b>流動負債</b>	6,376,560
現金及び預金	585,936	支払手形	253,927
受取手形	275,158	営業未払金	974,233
営業未収金	1,757,606	短期借入金	2,950,000
販売用不動産	652,788	1年内返済長期借入金	1,563,872
仕掛不動産	1,777	未払金	81,247
貯蔵品	8,285	未払法人税等	238,957
前払費用	98,730	未払消費税等	44,494
繰延税金資産	51,694	未払費用	75,097
その他流動資産	83,848	預り金	6,700
貸倒引当金	1,300	賞与引当金	72,684
<b>固定資産</b>	17,054,782	設備支払手形	66,556
<b>有形固定資産</b>	15,216,810	その他流動負債	48,789
建築物	4,999,721	<b>固定負債</b>	5,679,866
構築物	235,407	社債	500,000
機械装置	4,038	長期借入金	4,913,081
車両運搬具	451,181	退職給付引当金	101,246
工具器具備品	40,743	長期預り保証金	159,752
土地	9,436,624	その他固定負債	5,786
建設仮勘定	49,094		
<b>無形固定資産</b>	347,435	<b>負債合計</b>	12,056,426
借地権	140,617	<b>資本の部</b>	
電話加入権	23,361	資本金	1,284,300
施設利用権	6,843	資本剰余金	1,079,818
ソフトウェア	67,249	資本準備金	1,070,810
その他無形固定資産	109,363	その他資本剰余金	9,008
<b>投資その他の資産</b>	1,490,535	自己株式処分差益	9,008
投資有価証券	497,702	<b>利益剰余金</b>	6,157,747
会社株	109,700	利益準備金	90,818
出資	5,830	任意積立金	5,348,954
長期貸付金	254,173	別途積立金	5,348,954
長期前払費用	8,106	当期末処分利益	717,973
敷金保証金	300,013	株式等評価差額金	81,904
保険積立金	183,521	自己株式	90,887
繰延税金資産	14,828	<b>資本合計</b>	8,512,882
その他投資	118,730	<b>負債及び資本合計</b>	20,569,309
貸倒引当金	2,070		
<b>資産合計</b>	20,569,309		

(注)(1)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。  
 (2)有形固定資産の減価償却累計額 5,532,501千円  
 (3)担保に供している資産 10,498,530千円  
 (4)受取手形割引高 110,610千円  
 (5)1株当たり当期純利益 72円98銭  
 (6)商法施行規則第124条第3号に規定する増加純資産額 81,904千円

## 損益計算書

(平成15年4月1日から  
平成16年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目		金 額	
		内 訳	合 計
経常 損益 の 部	営業収益		13,354,591
	営業費用		12,381,501
	営業原価	11,819,005	
	不動産原価	174,968	
	販売費及び一般管理費	387,527	
	営業利益		973,089
	営業外収益		80,273
	受取利息・配当金	14,276	
	受取保険配当金	55,669	
	その他	10,327	
営業外費用		97,868	
支払利息	73,805		
その他	24,063		
<b>経常利益</b>		955,494	
特別 損益 の 部	特別利益		70,075
	固定資産売却益	1,879	
	投資有価証券売却益	68,196	
	特別損失		13,345
	固定資産除却及び売却損	12,545	
会員権評価損	800		
<b>税引前当期純利益</b>		1,012,224	
法人税、住民税及び事業税		470,842	
法人税等調整額		3,551	
<b>当期純利益</b>		544,933	
前期繰越利益		220,866	
中間配当額		47,826	
<b>当期末処分利益</b>		717,973	

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 利 益 処 分

(単位:円)

科 目	金 額
当 期 未 処 分 利 益 これを次のとおり処分いたします。	717,973,600
利 益 配 当 金 (1株につき 6円50銭)	48,201,309
役 員 賞 与 金 (うち 監 査 役 賞 与 金)	9,000,000 (1,000,000)
別 途 積 立 金	400,000,000
次 期 繰 越 利 益	260,772,291

(注)平成15年12月8日に47,826,129円(1株につき6円50銭)の中間配当を実施いたしました。

## 役 員 (平成16年3月31日現在)

(代表取締役)	豊 田 順 介
取締役 会長	
(代表取締役)	澤 田 邦 彦
取締役 社長	
専務取締役	神 谷 修 義
常務取締役	寺 田 佳 史
取締役	木 下 昭 二
取締役	寺 田 正 彦
取締役	池 谷 功
取締役	豊 田 重 雄
取締役	筒 井 昭 良
取締役	落 合 岐 良
常勤監査役	尾 崎 勇 夫
監査役	上 原 貞 夫
監査役	久 保 田 義 一

(注) 1. 取締役の筒井 昭氏は、商法第188条第2項第7号ノ2に定める社外取締役であります。  
2. 監査役の上原貞夫、久保田義一の両氏は株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。

## 会社の概要 (平成16年3月31日現在)

設 立	昭和40年8月
資 本 金	1,284,300,000円
本社及び主要な事業所	本 社 静岡県袋井市木原627番地の3 横 浜 営 業 所 神奈川県横浜市 西 部 事 業 部 静岡県浜松市 関 東 事 業 部 埼玉県春日部市 不 動 産 営 業 所 静岡県袋井市
従 業 員 の 状 況	531名

## 株式の状況 (平成16年3月31日現在)

- (1) 会社が発行する株式の総数 17,600,000株  
 (2) 発行済株式の総数 7,546,000株  
 (3) 株 主 の 総 数 796名  
 (4) 大 株 主

株 主 名	持 株 数	議 決 権 比 率	当社の当該株主への出資状況	
			持 株 数	議 決 権 比 率
有限会社スリーナイン	1,900,730株	25.90%	- 株	- %
豊 田 順 介	1,400,180株	19.08%	-	-
豊 田 慶 造	332,120株	4.52%	-	-
豊 田 弘 子	247,360株	3.36%	-	-
株式会社袋井倉庫	219,150株	2.98%	-	-
遠州トラック従業員持株会	202,954株	2.75%	-	-
澤 田 邦 彦	192,000株	2.61%	-	-
商工組合中央金庫	169,400株	2.30%	-	-
株式会社三井住友銀行	121,000株	1.64%	-	-
日本生命保険相互会社	100,000株	1.36%	-	-
日動火災海上保険株式会社	100,000株	1.36%	-	-

(注) 当社は自己株式130,414株を保有しております。

### (5) 自己株式の取得等の状況

取得した株式		
種類	数量	取得価額の総額
普通株式	54,590株	39,811千円
処分した株式		
種類	数量	処分価額の総額
普通株式	100,000株	78,700千円
失効手続した株式		
種類	数量	
普通株式	- 株	
決算期末に保有する株式		
種類	数量	
普通株式	130,414株	

## 会社の近況

### 吉田配送センター



生協向けに商品の仕入れや配送業務を行うユニコープ事業連合様との取引開始を受けて、この3月末、静岡県榛原郡吉田町に敷地面積9,900㎡、延床面積2,500㎡規模の配送センターを新設しました。同センターは、取扱品をドライ食品（＝生鮮品以外の食品）に特化した商品供給センターで、デジタルピッキングと呼ばれる最新鋭の自動仕分機を用いて、静岡県内13ヶ所の生協関連施設向けに商品の配送を行っています。

これは、平成14年にスタートしたカインズ社向けの商品配送業務に続く商業物流分野での事業展開となります。

### 細江倉庫



従来、当社の浜松地区における倉庫群は、道路アクセス上から、東名高速道路浜西インターチェンジ周辺に集中していましたが、第2東名高速道路完成を控え、需要が見込まれる北遠地区を対象に、浜北に次ぐ倉庫として、静岡県引佐郡細江町に敷地面積3,000㎡、延床面積2,100㎡の倉庫の建設を計画し、この5月6日に完成しました。

主に、関東地区からの引き取り輸送、一部の保管、および仕分けを行うほか、配送センターの機能を備え、一貫した自社体制にて、荷主の物流ニーズに応えていきます。

## 株主様ご優待制度

### 1. 株主様ご優待の方法

毎年3月31日現在の株主の皆様に対し、以下の基準により静岡県袋井市において、例年8月開催の「ふくろい遠州の花火」指定席入場券または、郷土の産品「クラウンマスクメロン」を贈呈いたします。

(1) 贈呈基準 当社株式を1,000株（1単元）以上ご所有の株主様に対し、そのご所有株式数に応じ、下記優待品の中から株主様ご希望の1点を贈呈いたします。

(A) 1,000株以上1,999株までご所有の株主様

ご優待品		数量
郷土の産品「クラウンマスクメロン」		2個

(B) 2,000株以上4,999株までご所有の株主様

ご優待品		数量
「ふくろい遠州の花火」指定席入場券		2枚
郷土の産品「クラウンマスクメロン」		3個

(C) 5,000株以上ご所有の株主様

ご優待品		数量
「ふくろい遠州の花火」指定席入場券		4枚
郷土の産品「クラウンマスクメロン」		4個

(2) 贈呈方法 「ふくろい遠州の花火」指定席入場券を贈呈する株主様には、8月開催日までに入場券をご送付いたします。開催日当日、現地会場にてご利用ください。（指定席入場券は当該年度の開催日当日使用に限り有効です。）郷土の産品「クラウンマスクメロン」を贈呈する株主様には、順次現品をご送付いたします。

本年（平成16年）の「ふくろい遠州の花火」開催日は8月7日（土）[雨天翌日]です。

### 2. その他

贈呈品の選択（(B)、(C)の株主様）につきましては、毎年6月、各株主様にご希望をおたずねいたします。なお、(A)の株主様には、自動的に郷土の産品「クラウンマスクメロン」をご送付いたします。